キトラ古墳周辺地区 整備の基本方針

キトラ古墳周辺地区は、国営飛鳥歴史公園に求めら れる多様な役割の中で、歴史的風土及び文化財等の 活用による体験的学習機能を主要な機能と位置付け、 以下の4点を基本方針とします。

■キトラ古墳の保全整備計画と連携し、人々に感動 を与える古墳周辺環境の整備を図る

- •文化財周辺環境の保全
- •文化財周辺環境の創出

■キトラ古墳の解説を通じ、飛鳥の歴史に関する情 報発信・学習機能の提供を図る

- ・キトラ古墳にまつわる展示の場
- ・文化財を通じた、体験的歴史学習の場
- ・体験を知恵に深める機会の創出

■飛鳥の歴史的風土を味わいながらゆったりと過ご せる公園空間の整備を図る

- ・自然・人文環境が一体となった歴史的風土の保全
- ・歴史的風土を生かし散策・休養・展望需要への対応

■質の高い利便性・サービスの提供及び新しい維持 管理手法の導入を図る

- •利用者の利便性の向上
- ・来園者と地元住民の参加による維持保全活動の導入
- ・新しい公園維持管理手法に対応した管理施設の整備

<位置図>



■エリアについて

キトラ古墳の保存、体験的学習の場の整備、歴史的風土の保全、情報案内の場など空間利用の観点から、以下に示す4つのエリアを設定しています。

古墳及び周辺環境保全エリア:古墳及び古墳周辺の緑地を一体的に保全するとともに野草による修景を行います。 体験学習エリア

: キトラ古墳の存在を通じて歴史体験学習を展開する区域で、屋内外で遊びながら学べる展示施設を整備します。 : 歴史的風土を保全しながら、多様な利活用を展開する区域で、棚田地形を生かした体験フィールドや工房を整備します。 歴史的風土保全活用エリア

: 国営公園としての利便性を高める各種サービスを提供する区域で、公園の玄関口として駐車場や案内所を整備します。

■公園施設について

情報案内エリア

現在、キトラ古墳周辺地区基本計画検討委員会の中で、設置が検討されている主な施設は次のものです。(※挿絵はイメージです。)

(農業体験フィールド

体験学習館

来園者や地域住民の参加と 学校の環境教育を維持管理体制 に取り込んだ農地の保全と活用 を検討しています。

キトラ古墳を中心に古天文学や古 墳壁画などの古代飛鳥の技術や文化

について、見て、聞いて、触れて学べ

る体験的歴史学習が可能な屋内展示

施設を計画しています。



歴史的風土保全活用エリア

農業体験フィールド

体験学習広場

キトラ古墳

体験学習館

古墳及び周辺環境保全エリア

体験工房

渡来人が伝えたとされる飛鳥の文化に影 響を与えた知識や技術を学ぶことが出来る体 験工房の設置を行い、専門のインストラクター の指導による単位制の講座や教室を開催し



至近鉄飛鳥駅

情報案内エリア

於美阿志神社

体験工房

情報案内施設

維持管理施設

展望広場

(駐車場と循環バスの発着所

飛鳥周遊の拠点として、自家用車用と 観光バス用の駐車場を確保し、村内循環 バスの発着所やレンタサイクルのターミナ ルを設置し、パークアンドライドの拠点とし ます。また、飛鳥地方の各遺跡の紹介や交 通情報などの提供をおこない、遺跡巡りを バックアップします。

(ボランティアの拠点

農地および樹林地の管理や展示解説 等に関するボランティアの育成を行うとともに、 に、活動の拠点となる場所を提供するなど の支援を図っていきます。

(キトラ古墳の鑑賞空間

特別史跡であるキトラ古墳の歴史的意味を伝える 植生や地形などの周辺環境を保全するため、高質 な管理を進めるとともに、古墳の全容が見渡せる広





■キトラ古墳(平成12年10月撮影)

料金受取人払

634 - 0144

明日香局 承 認

差出有効期限 平成15年〇月 ○目まで (切手不要)

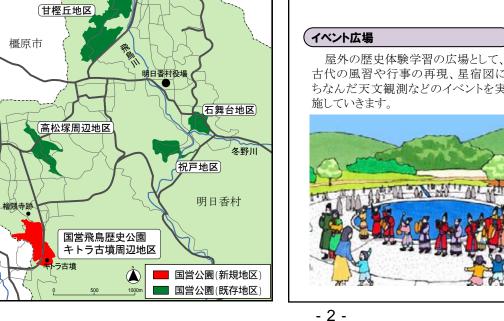
> 奈良県高市郡明日香村大字平田538 国土交通省近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所

キトラ古墳周辺地区 基本計画案に関する意見募集係



性別	□男□女	年代	□10代 □			□40代 以上
住所			都道 府県			区市 町村
国営飛鳥歴史公園にいらしたことがありますか? □①月に1回以上 □②年に数回程度 □③年に1回程度						

│□④数年に1回程度 □⑤1度も行ったことがない



古代の風習や行事の再現、星宿図に 至近鉄壺阪山駅 ちなんだ天文観測などのイベントを実

歴史体験学習エリア

- 3 -